

## 在鸣门 2025 年 3 月 总第 213 期

### 漩涡开春 春の渦開き

3月1日，我来到了龟浦观光港去看了漩涡开春系列活动。鸣门教育大学的鸣响连为大家献上了精彩的阿波舞表演。领导们致辞后，鸣门和淡路岛的观光大使给登船游客送上纪念品，内有两地的宣传册以及鸣门的裙带菜等特产。

3月1日、亀浦観光港で春の渦開きを開催しました。ここで鳴門教育大学の「鳴響連」が素晴らしい阿波踊りを披露されました。関係者が挨拶した後、鳴門と淡路の観光大使が乗船した観光客に記念品を渡しました。両市の観光パンフレットと鳴門ワカメなどが入っていました。



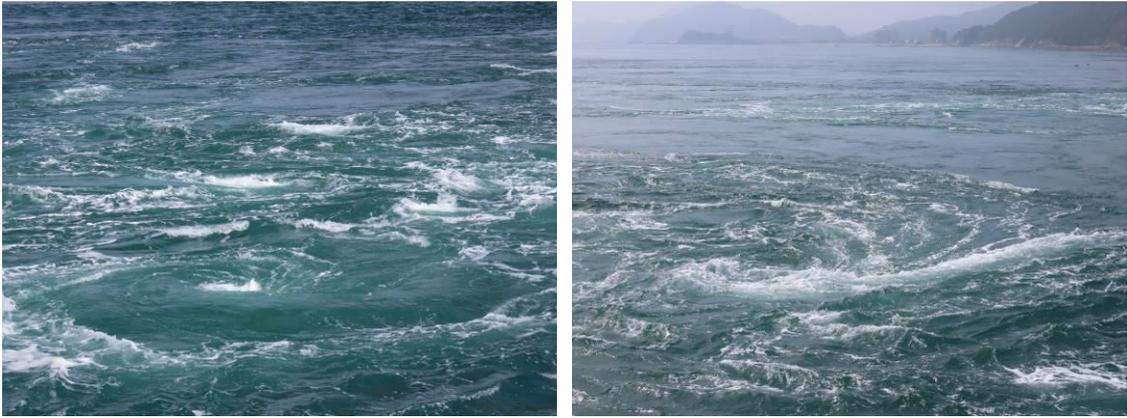
11点40分，观潮船准时出发，前往大鸣门桥下的漩涡产生区域。到达后，工作人员拿出黄金钥匙，交由两位观光形象大使，在周围游客一起倒数下，合力投入漩涡中，标志着今年的观光旅游季正式到来。

11時40分、観潮船が出航し大鳴門橋の下の渦潮に向かいました。着いたら、スタッフが黄金の鍵を2名の観光大使に渡し、観光客のカウントダウンとともに渦に投げました。これをもって春の観光シーズンがスタートしました。



鸣门漩涡是世界三大漩涡发生地之一，受鸣门海峡地形和潮汐等影响，在农历初一和十五前后有大潮。除了乘船观赏外，也可以从大桥下延申出来的涡之道俯瞰距离45米下方的漩涡，漩涡直径最大可以达到30米。

鳴門の渦潮は世界三大潮流発生地の一つです。鳴門海峡の地形と干潮、満潮などの影響で、旧暦の1日、15日前後に大潮が発生します。船のほか、大鳴門橋の下の「渦の道」では、最大直径30メートルの渦潮を海面から45メートルの高さで楽しむこともできます。



### 漫歩四国路 四国のみちウォーキング

四国路，是指一条长距离的徒步路线，全场约 1540 公里。德岛县内共有 24 条线路，总长约 320 公里。其中的线路 1，又称看漩涡的徒步路线，从鸣门公园出发，经过大毛岛，岛田岛，最后到达小鸣门新桥公交站。全场约 12 公里，步行需要 6 个小时。

四国のみちとは、全長約 1,540km の長距離自然歩道です。徳島県内は 24 コースがあり、全長は約 320km です。そのコース 1、渦潮のみえるみちは鳴門公園から出発し、大毛島と島田島を渡り、小鳴門新橋バス停まで、全長は約 12 キロ、徒歩は約 6 時間かかります。



3 月 20 日，我和十多人一起徒步体验了线路 1 的一部分。上午，来到集合地点，工作人员讲解了注意事项并一起做了准备活动，之后排队出发。10 分钟后，开始走登山路。山路台阶很多，比较的陡峭，不过大部分是水泥路。大家放缓节奏，一边欣赏鸣门公园景色，一边走到了观看大鸣门桥的最佳地点后，鸣门市的观光导游志愿者进行解说。

3 月 20 日、私は十数人とともにコース 1 の一部を徒歩で体験しました。午前中、スタッフが集合場所で注意事項を説明し、準備運動した後一列になってスタートしました。10 分後、山道に入ります。階段が多くて、少し険しい道ですが、ちゃんとセメント舗装されています。皆で鳴門公園の景色を楽しみながら、大鳴門橋を眺望できるまで歩いて、鳴門市観光ボランティアガイドが説明をしました。



从千疊敷观景台的右方延伸出一条小道，一直向下走可以看到印有四国路的起点的石碑，工作人员也向大家讲解了四国路的相关知识。返程的途中大家分成两队，一队继续前往大毛山，另一队则返回起点，结束今天的体验之旅。

千疊敷展望台の右側にまた道があつて、下に行くと、「四国のみち起点」が書かれた石が見えます。ここでスタッフから皆さんに四国のみちの由来などを説明しました。帰りの途中で2つのチームに分かれ、1つのチームは大毛山に向かい、もう1つのチームは戻り、この日の体験を終わりました。

### 出羽岛艺术展 出羽島アート展

在我的房间里，贴着一张德岛县的地图。某天，无意间看到了位于德岛县东南部海部郡牟岐町的一座小岛，再仔细看看，发现还有摆渡船。在网上查了一下，正好3月底有艺术展。最后决定开车去亲自看看。

僕の部屋には、徳島県の地図が貼り付けてあります。ある日、地図をチラッと見ると、徳島県の南東部に小さな島があります。調べると、海部郡牟岐町にある島で、連絡船が運行していて、3月末にアート展もあります。一度行ってみよう決めました。

根据地图软件说明，从鸣门前往牟岐町出羽岛约 80 公里，大概需要两个小时。

地図アプリによると、鳴門から出羽島は約 80 キロ、車で 2 時間ぐらいかかります。



上午 8 点出发,在沿路的公路驿站休息一次,并在 10 点半左右到达了牟岐港,在这里乘坐小船前往出羽岛。船出港后,风明显变大,海浪不时拍打到甲板上,船也随着潮水上下起伏,很庆幸没有晕船。

朝 8 時から出発し、道の駅で一回休憩して 10 時半ぐらい牟岐港に到着しました。ここで船に乗って出羽島に向かいます。港から出ると、風が強くなり、波も船のデッキまで流れ込んで、船も潮に揺れましたが、船酔いしなくてよかったです。



15 分钟后,船抵达了 4 公里外的出羽岛。这里的第一印象是安静,古老的房屋林列在道路的两侧。小岛周长约 4 公里,没有汽车,当地居民使用手推车来搬运物品。

15 分後、港から 4 キロ離れた出羽島に着きました。古い建物が隣接し、静かでのどかな初印象でした。出羽島一周は約 4 キロ、車がなく、「ねこ車」という手押し車で物を運んでいます。

岛内正在进行艺术展,同时也销售各类手工艺品。看完展出后,跟着自己的感觉,从小岛的西侧开始环游一周。

島ではアート展とともにワークショップやイベントを開催していました。チラッと見た後、気の向くままに島の西側の遊歩道から一周の旅を始めました。



出羽岛海拔最高点约为 100 米,岛南侧面朝太平洋,这里建有一座灯塔。道路上布满了树叶,虽然能够隐约听到海浪声,但是浓密的树林覆盖下几乎看不到海边的景色。

出羽島の標高は約 100 メートルで、太平洋に向けた南側で、灯台が建てられています。海沿いの道は落ち葉に覆われており、森は深く、波の音が聞こえますが、海の景色はほとんど見えませんでした。

沿着岛中间的线路下山，会路过一片竹林，十几米高的竹子晃动的声音、竹叶间摩擦的声音，和自己踩在树叶的声音，汇成了一支完美的交响曲。

島の中央コースに変わり下山しました。途中で竹林を通りかかって、数十メートルの竹林がゆらゆらした音、竹林の葉っぱの音、足で踏んだ葉っぱの音、自然のファンファーレになりました。



重新回到港口，在一株即将开花的樱花树下，一边休息，一边吃午饭。我想，盛开后会很漂亮吧。

港に戻って、間もなく開花する桜の木の下で休憩しながら昼ご飯を食べました。満開のときはきれいでしょう。



所属：鳴門市文化交流推進課

住所：鳴門市撫養町南浜字東浜 170（〒772-8501）

TEL：088-684-1224 / FAX：088-683-0237

E-mail: [bunkakoryu@city.naruto.i-tokushima.jp](mailto:bunkakoryu@city.naruto.i-tokushima.jp)

作成：呉 世康